


ふりがな 氏名	よしもと こうへい <b>吉本 光平</b>	都道府県	<b>福岡県</b>	
所属/肩書	<b>福岡県立武蔵台高等学校 教諭</b>			
私のESD活動	<b>「寺子屋プロジェクト」「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」担当「ユネスコカンボジアツアー」参加</b>			
ESD活動を表すキーワード	<b>次世代につなぐ教育</b>	<b>地域交流</b>	<b>国際理解</b>	

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

私が所属している福岡県立武蔵台高等学校はユネスコスクールに平成21年度から加盟しており、学校行事と ESD 活動を絡め様々な取り組みを行っています。本校は多くの行事をユネスコスクール活動として位置づけています。「ユネスコスクール講演会」、「世界一大きな授業への参加」、「海外派遣研修」など特色ある行事がいくつもありますが、特に本校開校以来の伝統行事である「天拝山登山」は、年5回の登山を通じてクラスでの絆を深め、地域を利用するための公共心を養うだけでなく、ESD の基本的な考え方である「地域の文化財に関する学習」「生物多様性」「環境学習」を内包し、本校の代表的な ESD 活動となっています。

私は昨年度より教務課特色化係ユネスコ委員会の担当として活動しております。ユネスコ委員会とは生徒会の委員会の一つで各クラス2名ずつ選出された60名の生徒からなります。大きな取り組みとして「ユネスコ寺子屋プロジェクト」と「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」に参加し国際的なボランティア活動を行いました。「ユネスコ寺子屋プロジェクト」は、ICTを活用した世界寺子屋運動についての調べ学習とリーフレットの作成を行うことで、生徒の情報活用能力を高めることに繋がりました。「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」では、世界の途上国の現状と衣服の寄贈活動についてユニクロ社員の方に説明していただきました。そして学校全体で子ども服の回収を行い、地域の方々にも協力を貰いながら多くの古着を途上国に送ることができました。

これらの取り組みは「国際理解教育」「環境教育」として日常の授業では味わえない知識・経験・達成感を生徒たちにもたらしめています。

**ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？**

先述の通り、現在私はユネスコ委員会の担当として活動しております。現在委員会として行っている活動は国際的視野に立ったボランティア活動を主に、「国際理解教育」「環境教育」の取り組みを実施しています。しかし他の ESD の基本的な考え方である「エネルギー教育」「世界遺産や世界の文化財等に関する教育」「その他関連する教育」という部分に対してはあまり実践できていないことが現状です。今後の私の展望としては様々なESDに関する研修会などに積極的に参加し、自らの知見を広げ、ユネスコ委員会に持ち帰ることで、生徒たちと協力しながら、ESD の基本的な考え方を全て踏まえた上で、生徒に実りのある ESD 活動を展開していきたいと考えています。近い目標としては「ユネスコ寺子屋プロジェクト」「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」以外にも生徒たちと取り組むことができそうな国際的な支援活動を探していきたいと考えています。